

## 【活動編】 トンボみちの仲間たち

最近の活動のなかから、月例活動(10月28日)の様子をお伝えします。(撮影:柴田)

タネまき場所を準備します



土をかけないで。

わたし、タネまきカンペキ!



アキアカネ



リッパな  
収穫物



イイね!  
イイね!

チューリップ  
咲いてね!



収穫ミカンと持ち寄りミカンを味わいました



# 【開催案内】トンボとい大作戦報告会・表彰式2023 ～会場は観音崎自然博物館～

今年1年間のトンボ調査を締めくくる報告会と表彰式が開催されます。みなさん、ぜひご参加ください。

日時:2023年11月26日(日) 14:00～15:30  
(オフショ)13:00～14:00 博物館見学

会場:観音崎自然博物館

アクセス:京急線「浦賀駅」より京急バス「観音崎」行でバス停「腰越」下車 徒歩約7分(バスを降りたら、直前の信号まで戻り、左手に見える観音崎大橋を渡ると海方面の正面に博物館の建物が見えます。)

参加費:無料

ただし、博物館の入館には別途入館料が必要です。

博物館入館料 大人500円、小中学生300円、幼児(4才以上)100円  
(中学生以下の入館料は主催者が負担します。)

申込み:不要 自由参加

参加者数:最大50名程度(スタッフ含む)

内容:①「毎年違う希少種が突然現れる!観音崎のトンボ事情」  
観音崎自然博物館 学芸員 佐野真吾氏

②トンボはどこまで飛ぶか本調査およびトンボとい大作戦調査  
結果報告 東京農業大学昆虫学研究室客員研究員 田口正男氏

③ジュニア調査員認定証授与

④トンボとい大作戦表彰式 表彰状および賞品贈呈

主催:トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

協力:観音崎自然博物館



## 【トンボみち何でも調査隊】C4型光合成ってなんだ? ～スベリヒユが高温や乾燥に強い理由～

今年の6月号で、スベリヒユを取り上げたとき、C4型光合成とかCAM型光合成といった言葉がありましたね。これはいったい何なのかについて調査してみました。

光合成とは、水H<sub>2</sub>Oを分解して酸素O<sub>2</sub>を放出し、二酸化炭素CO<sub>2</sub>から糖を合成する仕組みです。C4型光合成とはCO<sub>2</sub>を濃縮する仕組みを持つ光合成の一形態で、C4型光合成を行う植物をC4植物と呼びます。これに対して、この仕組みを持たない植物をC3植物と呼びます。

ウィキペディアによれば、「C3植物は高温や乾燥などの気孔が閉じがちになる条件下ではCO<sub>2</sub>を集めにくくなるが、C4植物はそうした条件を回避して気孔を開け、CO<sub>2</sub>を固定しておくことが可能である。高温や乾燥、低CO<sub>2</sub>、貧窒素土壌と言った、植物には苛酷な気候下に対応するための生理的な適応であると考えられる。」とあります。つまり、スベリヒユはC4植物の仲間なので、高温や乾燥に強いのです。

CAM型光合成 については調査を続けます。(銀(っ♪)



活動予定 ※雨天は1週間延期  
今月:11月25日(土) 9時～11時  
来月:12月23日(土) 9時～11時  
事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!

公式ホームページをご覧ください



トンボみちファンクラブ

検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2023年11月号  
発行日:2023年11月22日  
発行者:トンボみちファンクラブ  
連絡先:ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821  
◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています  
投稿してくれた方にはトンボバッジを差し上げます  
※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が  
地域の皆様に開放している公開緑地です

